

2 目標達成計画

作成日: 平成 21年 12 月 16 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	急変や事故発生時にそなえマニュアルがあり、対処方法についても話し合っているが、平均年齢が91歳、介護度平均3.9の入居者様を支えるにはもっときめ細やかな対応が必要であり、事故を想定した対処方法を個々に取り上げ、普段から準備していく必要がある	毎月の職員会議で、入居者様のリスクなどをとりあげ、職員全員で共有	・毎月職員会議で話し合う。 ・最低年1回往診センターのドクターや訪問看護師を交え取組みを話したり対処法の勉強の機会を設ける。	1年
2	4	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議に参加する構成委員のなかで、現在地域の代表として民生委員さんをお願いしているが、地域のさまざまな方を巻き込んだ地域運営推進会議にしたい。	運営推進会議を通して地域との連携を強固なものにしていく。	・老人クラブ・婦人会の会長さんをお願いする。 ・広報で呼びかける。	1年
3	29	地域資源との協同 地域の資源を活用し入居者様が安全で豊かな暮らしが楽しめるよう、また認知症の専門職としての技術を活かし地域に還元出来る様にしたい。	外部からの情報を取り入れ、入居者様をホーム内だけの生活で孤立しないようにする。 地域にグループホームを知っていただくとともに、認知症を理解し地域で支援していけるような基礎を構築する。	・広報などでボランティアさんを募集する。 ・広報に認知症のコーナーを設け、支援の方法や基礎的な知識をお知らせする。	1年
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。